

一族の5世代10人が松本深志高校と前身の旧制松本中学校に入学した記念として、松本市和田の上條徳治さん(82)が15日、同校同窓会に50万円を寄付した。写真。寄付金は学校支援に活用される予定。

上條さんが同窓会事務局が入る

深志教育会館(松本市蟻ヶ崎3)を訪れ、竹本祐子副会長に寄付金を手渡した。竹本副会長は「歴史の重みや卒業生の思いが詰まっているように感じる。これからの深志高校のために最大限生かしたい」と述べ、感謝した。

上條さんの祖父・春治さんが明治

親族10人が深志高校入学

同窓会に50万円寄付

松本の上條さん



治30(1897)年に入学して以来、明治、昭和、平成の各時代に上條さんの父や妻、息子などが同校で学んだ。今年4月に孫が入学したことで10人目となり、「5代10人」にかけて50万円の寄付を決めたという。上條さんは深志での高校生活は「青春そのもの」と懐かしむ。一方、「卒業生は都会に出て戻って来ない人も多い」といい「地元に残って活躍してほしい」と願っていた。(久保田貴大)